

# 楷

第六十五号

岡山大学  
附属図書館報  
OKAYAMA UNIVERSITY  
LIBRARY BULLETIN

KAI

No.65

2017  
OCTOBER

<写真>

きなり雀

小ルリト同物異名



「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

— 目 次 —

- 奇跡の池田家文庫（附属図書館長 今津勝紀） ..... p.2
- 「書籍」の変化と図書館のあり方についての極私的考察備  
（附属図書館副館長 李禎之） ..... p.5
- マスカット ..... p.8  
池田家文庫絵図展のお知らせ、学外者の貸出条件・貸出制限の変更、  
英語ホームページのリニューアル ほか
- 会議・研修・編集委員から ..... p.16

# 奇跡の池田家文庫

今津 勝紀

## 一、岡山空襲と池田家文庫

本学附属図書館に収める池田家文庫は、初代岡山藩主池田光政が寛永9年（1632）に鳥取から岡山に入部して以来、明治4年（1871）の廃藩置県に至るまでの約240年の岡山藩の藩政史料及び池田侯爵家旧蔵の和書・漢籍などの図書類で、藩政史料68,083点、和書4,166部（22,117点）、漢籍653部（10,420冊）の総称である。江戸時代に大名と呼ばれる家はおおよそ270家ほどあるが、その統治の内実を示す文書類は、明治以降、分散・散逸さらには滅失したものが多く、江戸時代に備前国を統治していた岡山藩の藩政史料は、国持ち大名の統治の全体を知ることができる一括した史料群である点で貴重である。本学では池田家文庫の原史料を教育に活用するとともに、絵図類を広く市民に公開するなどしているが、こうした好条件に恵まれた大学は日本でも数えるほどである。池田家文庫が本学でこのように活用されるに至るまでには、いくつもの奇跡があった。

岡山県では、昭和20年6月22日に三菱重工業水島航空機製作所のある水島が空襲され、その一週間後の6月29日未明に岡山市が空襲をうける。マリアナ諸島のテニアン島の基地から飛来したアメリカ軍のB-29爆撃機約140機は、紀伊水道から淡路島の南の沼島、小豆島の南端大角鼻、犬島の上空を通過して、旭川河口から岡山市街地へと侵入し空爆が行われた。夜間空襲では、まず大型の油脂焼夷弾（M47）が投下され、投下目標を設けた後に、内部にゼリー状に加工したガソリンと黄燐を混ぜた小型の集束焼夷弾（E48、集束弾からM74焼夷弾38本が解束される）を投下して攻撃目標を焼き尽くすのだが、岡山空襲では現在の県庁通りと国道53号線の交差する郵便局前の電停辺を投下目標とし、そこをめがけて合計で約980発、解束された焼夷弾をふくめると合計で約95,700発の爆弾が投下された（日笠俊男『B-29墜落：甲浦村1945年6月29日』吉備人出版、2000年）。

岡山市街地は一面火の海となり、逃げ場を失った多くの市民が犠牲となり1,725人余りが命を落とした。重傷者は897人、焼失家屋25,096戸、焼け出された人の数は104,606人に達したという（藤井学ほか『県史33 岡山県の歴史』山川出版社、2000年）。昭和15年の国勢調査による岡山市の人口は163,552人、世帯数は36,496世帯なので、この被害がいかにか甚大なものであったかがうかがえよう。岡山市鹿田の岡山医科大学キャンパスも焼夷弾により被災し、多くの施設が焼失するなかで、教職員・医療スタッフ・学生が押し寄せる負傷者の救護に力を尽くしたことが『岡山大学医学部百年史』（岡山大学医学部創立百周年記念会、1972年）に記されている。当時の診療各科のカルテの一部は現在も保存されており、とりわけ皮膚科教室の『昭和二十年度皮膚科泌尿器科患者録』は岡山市の岡山空襲展示室が開催する岡山空襲展で展示されているが、こうした診療記録も今や貴重な歴史遺産である。

岡山の市街地は、ほぼ旧城下町に相当するが、その7割強が文字通り焼け野原と化した。蓮昌寺の本堂・三重の塔など伽藍をはじめとして、中世から近世に掛けての多くの貴重な建造物・文化財が失われた。岡山城では、国宝に指定されていた天守閣をはじめ多くの櫓や蔵などの建物が焼け落ちるが、月見櫓と西の丸西手櫓（いずれも現在、重要文化財）、二の丸跡地の池田侯

爵家の蔵が焼け残った。岡山藩の藩政史料や大名調度は、明治以降、この内山下の池田侯爵家の蔵に収められており、偶然これらが残ったのである。

## 二、大学期成会と池田家文庫

昭和20年(1945)8月15日の敗戦により、日本は連合国軍による占領統治下におかれた。戦後改革の一環として教育改革が進行するなかで、岡山総合大学の計画が持ち上がり、昭和22年(1947)10月に岡山総合大学設立準備委員会、12月に岡山総合大学設立期成会が発足する。岡山市に大学をという機運は古くからあり、昭和2年にも衆議院で議決され、当時の若槻礼次郎内閣に建議が付されるが、実現することはなかった。

岡山に進駐した連合国軍は、津島の旧陸軍兵舎を接收し占領統治を行うが、昭和22年(1947)8月には大半が撤収した。その跡地は10月に進駐軍から大蔵省に返還されるのだが、これを機に、旧制第六高等学校の一年及び二年生を津島に移し分校を設置して、新たな学舎としたのが黒正厳校長であった。戦後の混乱期のため、旧軍の物資を狙う窃盗団が出没したり、昭和23年(1948)1月16日には、津島分校の兵舎を転用した生徒寮の階上より出火して、寮一棟・校舎四棟が全焼するなど、さまざまな困難があったが、第六高等学校の学生たちはこれを守り抜き、岡山の成立にともないこの広大な敷地と施設は津島キャンパスへと継承されることとなった。

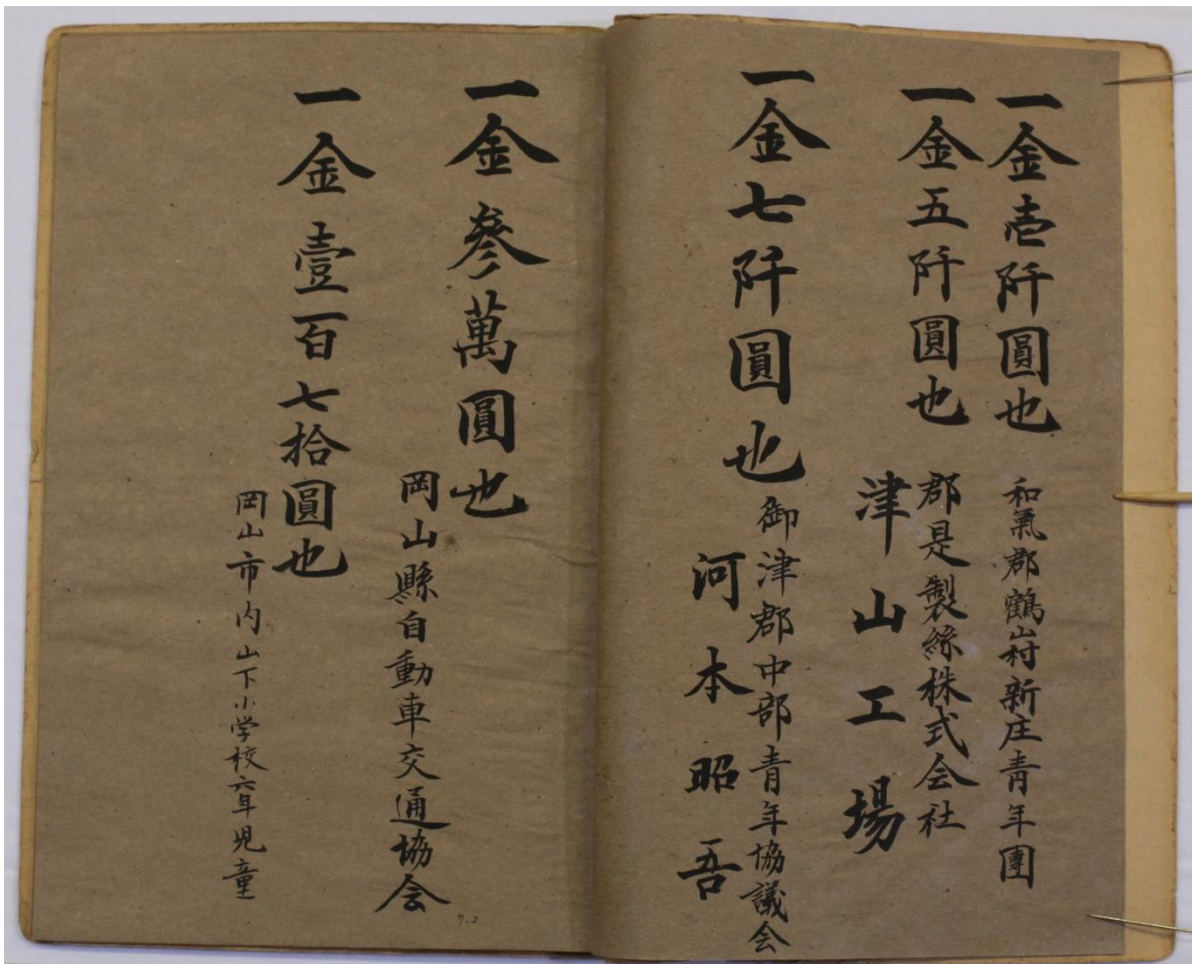
岡山総合大学設立期成会は、昭和23年(1948)1月には中国総合大学期成会へと改称され、本格的な誘致運動を展開する。大学設立をめぐる動向は『岡山大学二〇年史』に詳しいので、そちらに依りたいが、ここで特筆したいのは募金運動である。校舎改造費・附帯整備費・備品購入費・校舎拡張費・附属研究所設置費・創立事務費など合計三億円強の大学施設整備資金を確保するために、期成会は募金運動にも積極的に取り組んだ。昭和23年度の第一次資金募集の目標額は52,566,000円であったが、「岡山総合大学設立資金第一次募金運動」と題したパンフレットが広く岡山県民に配布され、県下の郡市単位に支部を設置し、町村毎に分科会を設けて、それぞれ責任額を割り当てて募金を行った。このほか、煙草のピース一箱を節約して募金に充当する運動を県民に呼びかけたり、小中学校および高等学校長に依頼してPTAの協力を仰いだりもした(『岡山大学50年小史』岡山大学創立50周年記念事業委員会、1999年)。

現在、附属図書館にて保管している「中国総合大学誘致資金醸出芳名録」は、年月日の記載がないが、そうした中国総合大学期成会の募金運動において作成された資金拠出者の芳名録である。戦後の物資不足のためか、ザラ紙に墨書きして冊子に綴じ、厚紙を表紙にした簡易なものであるが、そこには16件の芳名と拠出金額が記載されている。もとより、これが募金のすべてではないが、そこには、林原株式会社が50,000円、岡山東西旅館組合が26,400円、岡山商工会議所が12,000円、中国銀行が20,000円を拠出したことが記されている。また芳名録には、そうした大企業や大きな組織だけでなく、現在の備前市鶴山にあたる鶴山村新庄青年団が1,000円、内山下小学校六年児童が170円を拠出したことがみえる。まさに県内の大企業から小学生までが拠出に応じているのだが、募金には戦災からの復興と教育を通じて、新しい日本を建設しようとする広範な市民の思いが込められていたのであり、岡山大学はそうした希望に支えられて成立したわけである。

戦後の混乱期ゆえ、せっかく焼失を免れた池田家の大名調度品や岡山藩文書の流出・散逸も危惧される場所であったが、岡山藩文書については岡山総合大学設立期成会副会長の谷口久

吉氏や伊原木貞秀氏（池田家財政顧問、当時天満屋社長）の斡旋もあって、岡山大学の施設整備の一環として、期成会が募金を原資に池田家より買い取ることとなった。現在、岡山大学の貴重な学術資源として附属図書館池田家文庫に収められているが、藩政史料を一括して残すことができたのも奇跡にほかならない。そして、それが実現するにあたっての期成会の獅子奮迅の働きや、募金を寄せてくれた小学生に至るまでの広範な人々の熱い期待を忘れてはならないだろう。附属図書館の使命として、これからも池田家文庫を適切に保存・管理するとともに、研究・教育に積極的に活用し、広く地域社会および人類の遺産として世界に公開・還元してゆきたいと思う。

「中国総合大学誘致資金醸出芳名録」（附属図書館蔵）



（いまづ・かつのり 附属図書館長）

# 「書籍」の変化と図書館のあり方について の極私的考察

李 禎之

## はじめに

この四月から図書館業務に関わることになりました李と申します。一利用者から管理運営側へと図書館を見る視点が変わったことで、図書館について改めて考えさせられることの多い日々を送っております。この度、新任職員としてエッセーの執筆依頼を引き受けるにあたって過去の「楳」を紐解いてみますと、書籍の電子化や図書館のあり方に関するテーマが多く取り上げられてきたことに気付きました。と同時に、図書館執行部の大半が理系の先生方であったということもあり、書籍や図書館に対する考え方が文系の筆者とは若干異なるように感じたところがあります。そこで、こうしたテーマに気の利いたことを言う見識を持ち合わせていないことは百も承知の上で、慣例(?)に倣って私も極私的な感想に過ぎないとはいえ、同様のテーマにつき若干の考えを述べてみたいと思います。

ただ、こうしたテーマが頻繁に取り上げられること自体は、大学図書館をはじめとした公立図書館を取り巻く客観的な状況に鑑みると、ある意味で必然ともいえます。なぜなら、そこには出版形態が「紙媒体から電子媒体へ」へと移行（特に e-ジャーナルが顕著）していく中で、年々逼迫する予算を如何に適正・有効に配分していくべきかという困難な問いが存在しているからです。ここから、厄介な二択、すなわち「紙の書籍か電子書籍か」という問題が生じているように思われます。そこで以下では、この問題につき書籍の持つ二面性（情報としての「書籍」、物質としての「書籍」）を整理したうえで、図書館のあり方について一言述べることにしたいと思います。

## 情報としての「書籍」

情報源として「書籍」を見る場合、電子書籍はその側面に特化した形態ともいえます。まずは、電子書籍は、①物理的な保管場所が不要であるため、本学でも懸案の「書庫の不足」といった問題がありませんし、利用者も図書館に足を運ぶ必要がなくなります。また、②ペーパーレス化により、森林伐採を抑制できること（エコの観点）も指摘できるでしょう。そして何より電子書籍の強みは③（特に記述内容についての）検索が可能という点にあると思います。まさに「整理をしない整理術」、「体系を構築しない体系化」であり、ビッグデータ時代に適した情報管理のあり方に対応したものといえるのかもしれませんが。

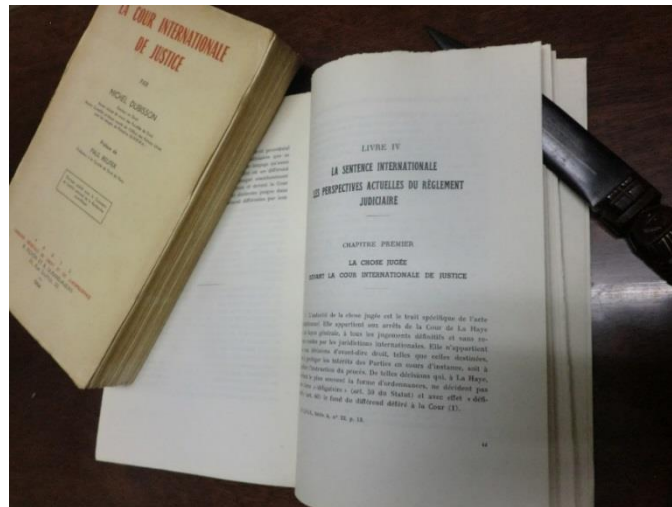
他方、電子書籍のデメリットは、①デバイスの問題が挙げられます。すなわち、読み手側に PC やタブレットが必須であり、年々改善されているとはいえ、紙媒体に比べ、読みにくさや書き込みにくさを感じる向きは多いでしょう。また、②維持管理コストも問題になります。この点、エルゼビアをはじめとした e-ジャーナルの価格高騰のみならず（ジャーナルの購読費高騰は紙媒体でも同様に発生し得るため）、サーバ代等のコストも継続的にかかり、「電子化＝コスト削減」ではないことは留意されてよいでしょう。そして、③契約形態によりますが、買い切

りではない場合は「契約解除＝蔵書消失」というリスクがあります。特に、e-ジャーナルを契機に紙媒体を打ち切っている場合、契約をやめるにやめられないという状態に陥ります。

### 物質としての「書籍」

紙の書籍は、物理的な存在という点で電子書籍と異なります。すなわち、①保管場所や資源（紙等）が不可欠であり、②書籍を読むために図書館へ行かないといけません。

他方で、①一旦購入するとモノとして残ります（資産価値）。また、逆説的ですが、検索ができないため、②必要な情報に辿り着くまでに周辺知識・関連情報に接さざるを得ません。このことは、社会科学のような「唯一の絶対的な正解」が存在しない分野においては、案外大事であると考えています。書架で関連しそうな文献を収集したり、それらを「積読」することから将来の研究につながるアイデアが生まれることも多くあります。必ずしも研究は直線的に進む訳ではなく、「道草」や「回り道」をすることが時には必要なのではないのでしょうか。そして、個人的な意見ですが、書籍が③モノの文化を象徴する場合もあると思います。例えば、法律書でも若干昔の仏語書籍は、ペーパーバック版しかなく、紙を折って製本しているため、ページを切りながら読むことになります。大学院時代に「フランスでは装丁を専門の職人（ルリユール *relieur*）に依頼するのだ」という話を聞き、書籍に対する考え方に感じ入ったことを覚えています。



### 電子化時代の図書館

書籍の形態の変化は、研究や学習のスタイルに変化を与えます。そのため、研究や学習を支援する図書館もこうした変化に対応せざるを得ません。確かに、PCやタブレットの活用やペーパーレス化はかなり以前から言われていますが、経験的には、WebClass等を通じたe-learningを利用しても、学生は紙にプリントアウトしており、スマホを含むタブレット等でペーパーレスに対応している者は未だ少数にとどまっているように思います。そして、上述したように紙媒体も電子媒体もそれぞれに一長一短があり、各々に存在意義があるため、現状ではいずれかに一本化することは現実的ではないでしょう。そもそも、「究極の二択」という問題設定自体に難があるといえるのではないのでしょうか。

ただ、問題は、紙媒体と電子媒体のバランスであり、全体的傾向としては、著作権をはじめとした多くの問題を含みつつも電子化に傾斜していくことが予想されます。その一帰結として、図書館という「場」の存在意義が問い直されざるを得ないでしょう。なぜなら、書籍の存在を「情報」それ自体としてみた場合、保管場所としての図書館にはその独自性がなくなると思われるからです(図書館の情報管理センター化)。しかし、個人的見解ではありますが、大学とは詰まるところ「人と図書館」であると考えています。まさに、大学図書館としての使命は、知の最前線を開拓しつつ情報の信頼性を担保していくために、情報と人を結びつける機能を如何に担い続け得るのかという点にかかっているのではないのでしょうか。そして、こうした「書籍を核とした周辺情報で人を集める」というコンセプト自体は、この間の図書館改革においても示唆されている方向性ではないかと思われます。

### 結びに代えて

とはいえ、研究の効率化とスピードが重視され、情報としての「書籍」という側面ばかりが強調される風潮にはある種の危うさも感じます。今進んでいる方向が「正しい」という保証はないのではないかと。過去より現在が、現在よりも未来が、「正しい」となぜ言えるのだろうか。これは、ある種の文系研究者の“僻み”なのかもしれません。ただ、「紙やインクの匂いを嗅ぎながら、知的衝動に駆られてページをめくる経験を持つこと」、古色蒼然としているかもしれませんが、そうした空気感をせめて大学図書館は纏ってほしいと思いますし、そうした知の伝統を継承するお手伝いができればと考えています。

(り・よしゆき 附属図書館副館長)

# マスカット

## 池田家文庫絵図展のお知らせ

池田家文庫は、江戸時代の備前岡山藩の藩政資料を中心とした約 10 万点にものぼるコレクションで、現在は岡山大学附属図書館が保管しています。平成 17 年 3 月には岡山市と岡山大学の間で文化事業協力協定を結び、以後池田家文庫の特徴の一つでもある「絵図」を中心とした展覧会を毎年開催しています。

今回の展覧会では「池田光政と絵図」をテーマに展示します。国絵図・城下図・郡図など、岡山藩主池田光政が作成に関わった絵図を展示することで、絵図を通して池田光政の岡山藩政が理解できる展示となっています。

1. 名称：企画展 池田家文庫絵図展「池田光政と絵図」
2. 会期：平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）～11 月 19 日（日）（休館日を除く 15 日間）  
[休館日] 11 月 6 日（月）、11 月 13 日（月）  
[開館時間] 10:00～18:00（入場は 17:30 まで）
3. 会場：岡山シティミュージアム 4 階 企画展示室  
〒700-0024 岡山市北区駅元町 15-1
4. 入場料：無料
5. 主催：岡山大学附属図書館、岡山シティミュージアム
6. 関連行事：

### [オープニングトーク]

日時 平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）10:00～10:30  
会場 岡山シティミュージアム 4 階 企画展示室  
講師 岡山大学 特命教授 倉地克直氏  
内容 この展覧会を監修された倉地克直先生に展覧会場でお話しいたします。  
備考 予約不要

### [講演会]

日時 平成 29 年 11 月 12 日（日）14:00～16:00  
会場 岡山シティミュージアム 4 階 講義室  
講師 岡山大学大学院社会文化科学研究科 准教授 三宅正浩氏  
演題 池田光政の時代  
備考 定員 80 名（予約不要、当日先着順）

7. 主な展示資料：  
備中国之内上房郡川上郡阿賀郡哲多郡四郡之絵図  
岡山城郭図  
和気郡図  
岩生郡図  
賀陽郡絵図





### 学外者の貸出条件・貸出制限の変更について（中央図書館）

利用者の方のご要望にお応えし、平成 29 年 4 月から中央図書館の学外の方の貸出条件・制限を下記の通り変更いたしました。どうぞご利用ください。

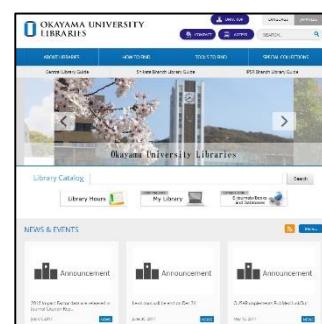
- ・ 貸出条件変更箇所  
直接来館して貸出返却手続きができる、18 歳以上の方（高校生を除く）  
（旧条件：岡山県内在住・在勤・在学の 18 歳以上の方（高校生を除く））
- ・ 貸出制限変更箇所  
期末試験中も貸出制限を行わない（試行）

※ただし今後学内利用に影響があると判断した場合は制限を行う可能性があります。

（旧条件：大学の期末試験中は貸出ができない。）

### 英語ホームページのリニューアルについて

平成 29 年 3 月 13 日に附属図書館の英語ホームページをリニューアルしました。大学 HP のデザインと統一し、トップページの下部にサイトマップが表示されることで、よりアクセスしやすいデザインになりました。トップページの URL は従来のまま（[http://www.lib.okayama-u.ac.jp/index\\_e.html](http://www.lib.okayama-u.ac.jp/index_e.html)）変更はありません。



### 平日早朝開館実施報告（中央図書館）

中央図書館では、前年度と同様、授業期間中（4月～8月、10月～2月）の平日に早朝開館を実施しています。

平成 29 年度 4 月～8 月の早朝開館実施時間（8：00～8：40）の入館者数は、実施日数 81 日間で合計 5,271 人となりました。当館では今年度の後期授業期間にも早朝開館を実施する予定です。

### 学生・館長懇談会報告

中央図書館では、平成29年7月12日（水）に、薬学部、環境理工学部、環境生命科学研究科所属の学生計9名の参加を得て、今年度1回目の学生館長懇談会を開催しました。

懇談会は年2回開催しており、よりよいサービスの提供を目指して、学生から図書館利用についての意見や要望を直接お聞きするために実施するものです。

この度の懇談会で、学生からは開館時間や蔵書、館内貸出機器、駐輪スペース等について改善の要望が出ました。懇談会終了後、学生からの意見を基に、サービス改善に取り組んでおります。

附属図書館では、今後も懇談会で得られる貴重な意見をもとに、よりよいサービス実施に努めます。

## オープンキャンパス報告

中央図書館および鹿田分館は、8月5日（土）、6日（日）の2日間、オープンキャンパスでにぎわいました。

会場では、大学教科書展示、岡山大学史についての展示、大型プロジェクターを用いた学部HPの紹介などを行いました。

2日間にご来館いただいた高校生、保護者の方は、中央図書館で4,631名、鹿田分館で459名に達しました。

## 岡山大学公開講座「閑谷学校 350年の歴史と変遷」実施報告

日時：平成29年8月25日（金）14：00～16：00

場所：中央図書館本館3階セミナー室

講師：特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会理事長 國友道一氏

参加者：49名

講師の國友先生には閑谷学校の歴史や現在の状況、明治後の閑谷学校の歩みなどについて詳しく説明していただき、今後の閑谷学校の展望等を、質疑応答も含めて明快に語っていただきました。また、同時に池田家文庫の資料を活用した閑谷学校に関する展示も行いました。

当日は49名の方にご参加いただき、「閑谷学校の魅力を十分感じる内容だった」「岡山の教育の歴史の全体像にも迫るお話で、大変興味深かった」などの声をいただき、盛会のうちに終了しました。

## 平成29年度「池田家文庫こども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(夏) 実施報告

平成29年6月18日（日）に附属図書館と教育学部の共催による「池田家文庫こども向け岡山後楽園発見ワークショップ」を岡山後楽園で開催し、44名（小・中学生23名、同行者21名）の方にご参加いただきました。

参加者は昔の後楽園を描いた絵図と現在の後楽園を見比べながら園内を探索し、普段とは違った視点から後楽園の歴史に親しみました。

## 中央図書館ミニ展示報告

中央図書館本館1Fロビー、本館1Fラーニングコモンズ内の展示スペースで、当館資料を紹介する「ミニ展示」を実施しています。ぜひご覧ください。平成29年2月～8月は下記テーマで実施しました。

- 2月 「生協寄贈図書展示」
- 3月 「やさしい食堂こやま と ころとからだに  
優しい料理」 (知好楽セミナー関連展示)
- 4月 「学生のみなさんへ 新学期応援おすすめ本」
- 5月 「岡山を読む」
- 6月 「写真・カメラ特集」
- 7月、8月 「生協寄贈図書展示」



## 知好楽セミナー報告

「知好楽セミナー」とは、グローバル化時代を生き抜くための「知」と「心」を育む交流をコンセプトとした中央図書館の独自企画です。各界から多彩な講師をお招きし、ご好評をいただいています。

### 第13回「やさい食堂こやま in Okadai Library」

日時：平成29年3月22日（水） 14：40～16：00

場所：中央図書館 本館1F ラーニングcommons

講師：「やさい食堂こやま」オーナー 小山津希枝氏

参加者：38名

岡山市北区田町にある人気食堂のオーナーをお招きしました。おいしく、簡単にできる野菜料理のレシピや食育について、ご講演いただきました。

### 第14回「現代短歌の作り方ー31字で伝える世界ー」

日時：平成29年6月28日（水） 14：30～16：00

場所：中央図書館 本館2F サルトフロresta

講師：岡山大学短歌会会員の皆様

参加者32名

「大学短歌バトル2017」で全国優勝を飾った“おかたん”の登場です。大学生ならではの若々しい感性で、現代短歌の面白さを、生き生きと伝授していただきました。

### 第15回「美容師という仕事ープロが教えるヘアアレンジー」

日時：平成29年7月24日（月） 14：30～16：00

場所：中央図書館 本館1F ラーニングcommons

講師：ドゥアパパス 店長 松本大佑氏

大学院社会文化科学研究科 佐々木守俊先生

参加者：19名

岡大生も多数お世話になっている美容室の店長をお招きしました。佐々木先生のナビゲートで、時代時代の美意識の変遷をたどった後、流行のヘアアレンジにチャレンジしました。

## 資源植物科学研究所分館企画展報告

資源植物科学研究所分館では、平成29年3月23日（木）～5月13日（土）に企画展「植物で身だしなみ」を開催しました。私たちの「身だしなみ」は意外に多くの植物に支えられています。植物の持つ潜在的な力、そしてそれを利用した先人たちの知恵の素晴らしさを、当館所蔵の貴重書などから、東西の植物画とともにご紹介しました。

5月13日（土）は資源植物科学研究所一般公開のイベントとして、地域の皆様にご来館いただきました。一般公開は、研究所の研究内容を紹介するイベントです。クイズラリーの問題を展示物から出題し、来館者には貴重資料の絵はがきをプレゼントしました。



## サルトフロレスタ展示報告

中央図書館本館2階のサルトフロレスタでは各種の展示を行っています。サルトフロレスタ内イチョウエリアでは学内の研究成果を発表する「知恵の見本市」のポスター展示を実施しています。

また、同じくクスノキエリアの展示スペースでは、学内の資源を使った様々な展示を行っています。具体的な実施内容は以下の通りです。

- ・「岡山大学の源流」

今年2月5日に開催されたシンポジウム「岡山大学の源流」では、学内外の識者が岡山の教育と岡山大学の源流について語り、これからの岡山大学の将来について探りました。

その時に企画展として開学当時の資料や前身となる諸学校の写真、関連資料を展示したのですが、そのうち、津島キャンパスに関する資料を再展示しました。

また、展示ケース後のらせん階段展示棚で旧第六高等学校の蔵書を紹介する関連図書展示も実施しました。

展示期間：平成29年6月26日（月）～平成29年10月22日（日）予定（中央図書館 開館時間中）

展示場所：本館2階 サルトフロレスタ内クスノキエリア※

※ カイノキエリアらせん階段周辺の展示棚で関連図書の展示も実施。

展示資料：前身の諸学校や岡山大学開学当時の写真・新聞記事、岡山大学開学に関する資料など ※ いずれも複製展示。

## オリエンテーション・データベース講習会実施報告

### ○中央図書館

中央図書館では平成29年4月～7月にオリエンテーション等を実施し、延べ778名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション、ツアー

実施日	対象	参加人数
4月3日、4日	新任教員	12
4月5日	放送大学学生	9
4月5日～5月31日	新入生	562

ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
4月17日、26日	図書館・文献検索ガイダンス (教員の依頼により授業・ゼミ等で実施)	31
5月15日、17日、23日	レポートテーマ設定支援講座	24
5月17日、19日、25日	先行研究・関連情報探索講座	36

## データベース講習会

実施日	データベース名	参加人数
6月20日(2回実施)	Web of Science + EndNote	35
6月21日	Inspec	4
6月21日、23日	Biological Abstracts	4
6月21日、22日	Econlit	4
6月23日	PsycINFO	4
6月27日	Lexis Advance	11
6月28日(2回実施)、29日	SciFinder Web版	29
6月30日	JapanKnowledge	4
7月5日、11日	JDreamIII	9

## ○鹿田分館

鹿田分館では平成29年3月～8月にオリエンテーション等を開催し、延べ642名の方にご参加いただきました。

## オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
3月16日	育成プログラム	25
4月1日～12日	新入生	429
4月5日	医学科2年次編入生	5
4月6日	医歯薬学総合研究科博士課程	30

## 講習会

実施日	講習会名	参加人数
3月29日	医中誌 Web	6
4月13日	文献入手講座(新任教員)	1
4月20日、25日	文献入手講座(秘書向け)	3
4月25日	文献入手講座(医学部1年)	8
6月7日	医中誌 Web	11
6月12日	CINAHL	22
6月15日	UpToDate	81
6月19日	Web of Science + EndNote	11
6月22日	EBMR	9
8月22日	医中誌 Web、CINAHL	1

**○資源植物科学研究所分館**

資源植物科学研究所分館では平成 29 年 4 月～6 月にオリエンテーション等を実施し、延べ 136 名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4 月 6 日	環境生命科学研究所新入生	6
5 月 9 日	農学部新入生	128

データベース講習会

実施日	データベース名	参加人数
6 月 19 日	Web of Science + EndNote	2

**教員からの寄贈図書リスト**

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

<中央図書館>

今津勝紀 [社会文化科学研究科]

日本古代交流史入門——勉誠出版, 2017.6 (210.3/N)

岩藤美智子 [法務研究科]

信託及び財産管理運用制度における受託者及び管理者の責務及び権限 (トラスト未来フォーラム研究叢書 79)——トラスト未来フォーラム, 2016.11 (324.82/S)

金子 真 [社会文化科学研究科]

文学における宗教と民族をめぐる問い——朝日出版社, 2017.2 (902.09/B)

小塚真啓 [社会文化科学研究科]

税法上の配当概念の展開と課題——成文堂, 2016.3 (345.3/K)

張 紅 [社会文化科学研究科]

中日经济法比较研究 (经济法文库 第 2 辑)——北京大學出版社, 2017.1 (333.09/C)

膝 鑑 [社会文化科学研究科]

中国の体制移行と経済発展 (岡山大学経済学研究叢書 第 47 冊)——岡山大学経済学部, 2017.3 (332.22/T)

藤内和公 [名誉教授]

ドイツの雇用調整——法律文化社, 2017.1 (336.234/T)

徳永誓子 [社会文化科学研究科]

日本的時空観の形成——思文閣出版, 2017.5 (210.3/N)

平山智康 [研究推進産学連携機構 (寄贈時)]

地域自動車部品サプライヤーのグローバル戦略を考える (科学研究費補助金(基盤研究 A)研究成果報告書 2014-2016 年度)

——山口大学経済学部古川澄明研究室, 2017.2 (F537/C)

- 三宅正浩 [社会文化科学研究科]  
原町市史 第1巻 通史編1 原始・古代・中世・近世——原町市, 2003- (212.6/H)
- 村井良介 [教育学研究科]  
戦国大名論：暴力と法と権力 (講談社選書メチエ 607)——講談社, 2015.9 (210.47/M)
- 山田哲史 [社会文化科学研究科]  
グローバル化と憲法：超国家的法秩序との緊張と調整 (憲法研究叢書)  
——弘文堂, 2017.2 (323.01/Y)
- 行安 茂 [名誉教授]  
戦後71年の回顧とイギリス・アメリカ思想：私の研究遍歴  
——桜美林大学北東アジア総合研究所, 2017.2 (150.23/Y)
- 遊佐 徹 [社会文化科学研究科]  
近代アジア世界における自画像/他者像の形成・受容過程の研究 (岡山大学文学部プロジェクト研究報告書 24)——金関猛, 2017.3 (220/K)

<鹿田分館>

- 岡山大学病院看護研究・教育センター  
岡山大学病院看護研究・教育センター活動報告書 平成26-28年度  
——岡山大学病院看護研究・教育センター, 2017.3 (N240/OK)

**岡山大学出版会からの寄贈図書リスト**

- 荒木 勝 [理事]  
東アジアの共通善：和・通・仁の現代的再創造をめざして  
——岡山大学出版会, 2017.3 (302.2/H)
- 安藤美華代 [教育学研究科]  
児童生徒のいじめ・うつを予防する心理教育"サクセスフル・セルフ" 第2版第2刷  
——岡山大学出版会, 2017.3 (F371.4/A)
- 田中 勝 [理事]  
戦略的廃棄物マネジメント：循環型社会への挑戦——岡山大学出版会, 2017.6 (518.523/T)
- 岡山大学全学ガイダンステキスト編集委員会  
岡山大学全学ガイダンステキスト 2017年度版——岡山大学出版会, 2017.3 (F377.9/O)
- 岡山大学附属図書館貴重資料刊行推進会  
御留帳評定書 上 (池田家文庫資料叢書:3)——岡山大学出版会, 2017.2 (L217.5/O)

## 会議

### ◆学外

- 29.4.20 第 65 回中国四国地区大学図書館協議会総会  
(於：松山市立子規記念博物館)
- 29.4.21 第 44 回国立大学図書館協会中国四国地区協  
会総会 (於：松山市立子規記念博物館)
- 29.5.29 日本医学図書館協会第 88 回通常総会・分科会  
～30 (於：聖路加国際大学)
- 29.6.5 岡山県図書館協会総会 (於：岡山県立図書館)
- 29.6.15 平成 29 年度第 1 回岡山県大学図書館協議会総  
会 (於：岡山理科大学)
- 29.6.22 第 64 回国立大学図書館協会総会 (於：TKP  
～23 ガーデンシティ千葉)
- 29.8.30 全国遺跡報告総覧実務者会議 (於：奈良文化財  
研究所)

### ◆学内

- 29.3.2 平成 28 年度第 1 回貴重資料委員会・貴重資料  
刊行推進会合同会議
- 29.6.13 平成 29 年度第 1 回附属図書館運営委員会
- 29.7.27 平成 29 年度第 1 回附属図書館運営委員会  
資源植物科学研究所分館分科会
- 29.7.31 平成 29 年度第 1 回附属図書館運営委員会  
鹿田分館分科会
- 29.8.2 平成 29 年度第 1 回貴重資料委員会

## 研修

- ・平成 29 年度国立大学法人岡山大学オリエンテーショ  
ン及び岡山大学新任教職員研修  
参加者 今津 勝紀、李 禎之、大元 利彦、  
田中 俊二 (4.27)
- ・日本学術会議主催学術フォーラム  
参加者 大元 利彦 (5.18)
- ・平成 29 年度環境マネジメントに関する講習会  
参加者 大元 利彦、田中 俊二 (6.9)
- ・平成 29 年度ハラスメント相談員研修会  
参加者 田中 俊二 (6.27)
- ・第 2 回 JMLA コア研修  
参加者 藤井 香子 (8.6～8.8)
- ・第 7 回中国・四国・九州・沖縄地区フレッシュパー  
ソンセミナー  
参加者 水内 勇太 (9.7～8)
- ・平成 29 年度国立大学法人岡山大学主査・主任研修  
参加者 遠矢 厚志、藤原 智孝 (9.14)
- ・平成 29 年度図書館等職員著作権実務講習会  
参加者 岩佐 美紀 (9.28～29)

## 編集委員から

縁あって、約 30 年ぶり二度目の図書館勤務となりました。図書館（津島）では、西館が建ち、本館は改修できれいになり、空調はボイラーからエアコンに替わり快適で、開館時間は延び、休館日（館内整理日）はほとんどなくなり、自販機まであります。

鹿田分館・植物研分館も含めて時代に合わせて進化する図書館を、皆さんどうぞご利用ください。(T.S.)

---

岡山大学附属図書館報「楳」 No.65 平成 29 年 10 月 1 日  
発行人 大元利彦 編集 広報ワーキング  
岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目 1-1  
ホームページ URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>